

目次

●第25回感想画コンクール表彰式 ●第35回あかつき賞表彰式

※児童、生徒のみなさんの敬称は省かせていただきました。

部門	賞	園/校名	氏名	タイトル
未満	クジラ	中央保	田村 結希	うごきません
	イルカ	中央保	菊池 美桜花	おたまじゃくしの101ちゃん
		佐賀保	矢野 希帆乃	ともだちくるかな
1年	クジラ	佐賀保	櫻木 太鳳	パンどろぼうVSにせパンどろぼう
		拳ノ川小	小橋 絵麻	うごきません
	イルカ	南郷小	橋田 侑佳	きえたケーキ
		入野小	田村 明希	スイミー
2年	クジラ	佐賀小	田辺 櫻	にちようびはパンケーキ！
		拳ノ川小	宮崎 健	こっちにおいでよ、ちびトラ
	イルカ	入野小	野並 稟	ニャーゴ
		佐賀小	前口 恋春	ちいさなちいさなまほうのおしろ
3年	クジラ	佐賀小	土居 小櫻	ちいさなちいさなまほうのおしろ
		田辺 虎駕	おしいれのぼうけん	
	イルカ	佐賀小	秋田 一颯	のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト
		佐賀小	松田 歩南	とらとほしがき
4年	クジラ	南郷小	金平 謙汰	とうちゃんのトンネル
		南郷小	大西 舞帆	しあわせになあれ
	イルカ	南郷小	宮尾 友歌	たんぼぼでんしゃ
		南郷小	藤原 善	バムとケロの日曜日
5年	クジラ	佐賀小	喜多 陽咲	ほくの村にサーカスがきた
		田ノ口小	有友 日葵	わさおのきもち
	イルカ	南郷小	宗崎 瑚太郎	きみはほんとうにステキだね
		南郷小	宮尾 奎哉	はのはのはなし
6年	クジラ	南郷小	石橋 愛海	たのしいムーミン一家
		南郷小	武政 優花	めっきらもっきらどおんどおん
	イルカ	田ノ口小	矢野 愛梨	ハロウィンペンとう
		田ノ口小	ハジフ 美瑠	ぼくは満員電車で原爆を浴びた
館長特別賞		田ノ口小	金子 花菜	とびっきりのともだち
		佐賀小3	篠田 菜	いのちをいただく
		佐賀小1	伊尾木 菜月	かさこじぞう

第25回感想画コンクールの作品募集について、119人の子どもたちから122点の応募があり、令和7年2月24日に表彰式を行いました。

この日は、前日からの時ならぬ大雪で、会場の外は一面の積雪があり、とても寒い朝になりましたが、子どもたちは大喜びで、外での雪遊びをしたくて、会場内での表彰式が早く終わるのを待ちわびていました。

本紙では、入賞作品を部門ごとに掲載し、子どもたちの喜びの様子をお届けします。



上林 暁文学のふるさと

あかつき 第42号

大方あかつき館

〒789-1193 高知県幡多郡黒潮町入野6931-13
TEL: 0880-43-12110 FAX: 0880-43-10222

と言われました。友達といつもサッカーをする公園で、友達に、「また遊ぼうね。」

と言って、高知県に行くことを決めました。友達とはなれるのもさみしいので、行くことを少し後悔しました。

高知県に引越した時は、海もきれいでいい場所だなと思っていましたが、学校に行く少し前の日に、急に不安な気持ちが大きくなり、こわくなりました。学校へ行って友達ができるかな、上手にやっていけるかな、きらわれたりしないかななど色々なことを想像してしまいました。だから気持ちが悪くなったりました。

そして学校当日、初めてのスクールバスの登校。知らない友達でいっぱい、さらに横浜にはない高知の方言が飛び交っていて、授業中もずっと静かにして、問題の答えはわかっていないけど発言できないままです。

また、サッカーを一緒にやらないけど「一緒にやらない。」

と言えないでいました。

ですが、学校の子達が、掃除の仕方やわからないことを教えてくれたり、えんぴつを貸してくれたりしました。また算数のわからないところを聞いてくれたりしてやさしい人がいっぱい、よかったと安心しました。

しかしある日、学校に遅刻してしまい、どうしようとてもあせりました。でも、全然気にしなくて普通に接してくれました。「一緒にバスに乗るはるくんが」「大丈夫だって。」

とやさしく言ってくれました。

それからしばらくは、だんだん授業でも発言したり、友達とサッカーをして遊んだり、ふつうに話せるようになりました。

しかしまた問題が出てきました。ぼくはサッカーをしているので、高知県の地元チームに入っていました。横浜でもサッカーチームに入っていました。練習はいつもと違って、やり方がわかりませんでした。ですがそこでも友達がストレッチのやり方をわかりやすく教えてくれたりして、助けてくれました。みんなやさしくしてくれました。また体調を崩して家にいるときに、次の日の時刻表を持ってきてくれたりして、いつも助けてくれます。

そして横浜の時のように過激なようになりました。ですが、ぼくはそのままでは終わってはいけなと思います。ぼくのよつにおちうところから引越してきたりしている人は、たくさんいると思います。だから、ぼくのように困っている人がいた時は、助けてあげたりできるようにしたいです。でもぼくは少し人見知りなところもあるので、小さいことから助けられるようになりたいです。

その二つ目は、声をかけることです。

「おはよう。」や「いっしょにやろう。」など、なるべく声をかけられるようにしたいです。

二つ目は、その子を一人ぼっちにしないことです。普段からいっしょにサッカーなどをしていたので、普段からいっしょにサッカーなどを楽しく遊べる学校にしたいです。

2025年度(令和7)は俳句大会の年です。

子どもたちに人気の北大路翼がやって来る

◆令和7年度 第18回上林暁忌俳句大会

日時：2025年8月24日(日) 9:30 受付
会場：黒潮町保健福祉センター2階大ホール
選者：田村乙女さん(高知県俳句連盟副会長)

上林暁の命日(8月26日)に近い休日に隔年で開催している俳句大会です。今回は、選者に田村乙女さん(写真)をお迎えします。

前回の大会に参加してくださった皆さんには、応募要項をお送りしご案内いたしますが、俳句大会に興味のある方は、事務局までお問あわせください。

☎ 0880・43・2110
事務局：武政

講師：北大路翼
(俳人：家元)

上林暁文学館



当日、出席された入賞者のみなさん



時ならぬ積雪に大喜びの子どもたち



展示ギャラリーの様子

クジラ賞 入賞作品

中央保 田村 結希	拳ノ川小2 宮崎 健	南郷小4 大西 舞帆
田ノ口小5 有友 日葵	佐賀小3 田辺 虎駕	南郷小6 武政 優花
拳ノ川小1 小橋 絵麻		

●映画案内●

詳しくはあかつき館ホームページ(あかつきシアター)でご確認ください。

あかつきシアターは大方あかつき館で行っている映画の上映会です。迫力あるスクリーンをお楽しみください。

◆映画案内◆

上林暁の本『海と旅と文』が2025年3月31日発行された。編者の山本善行氏にとって六冊目の編集となり、上林暁の入門書としての魅力が随所に表現されていて、コンパクトな「上林暁公式ガイドブック」といったところであらうか。

表紙の写真は牡蠣瀬川の下流で土佐西南大規模公園の前。ここは、上林の作品にはたくさん登場し日常的にも見慣れている、決して風光明媚とは言えない難い場所だが、こうして本の表紙になるとそれなりに見えるから不思議だ。

真新しいハードカバーを手にして、恐る恐るページを開きながら、一つひとつ見ていくのがワクワクする。

お求めは、上林暁顕彰会(大方あかつき館)まで・・・

本の帯には、私小説入門 文学の生まれる場所 とある。

木山捷平、野呂邦暢、関口良雄らが綴る作家のこと。

鈴木理策が撮影した、郷里の風景。

昭和を代表する私小説作家上林暁の美しい世界。

定価：本体 2400 円＋税

